

国内事例
in Japan

1

地域循環共生圏フォーラム2021 開催レポート

環境省が運営する地域循環共生圏づくりプラットフォームでは、「地域循環共生圏のコンセプトを広め、考え方を共有すること」、「専門的知見や新規事例を紹介し、地域循環共生圏の取組のきっかけをつくること」、「まなびの場を提供すること」を目

的として、2020年より「地域循環共生圏フォーラム」を開催している。今回は、2021年10月27日に開催された「地域循環共生圏フォーラム2021」の概要と、地域循環共生圏関連事業におけるフォーラムの位置づけや挑戦についてご報告する。

試行錯誤から始まった 第1回目

第1回目となる2020年に開催したフォーラムでは、地域循環共生圏という真新しい概念を周知させることを重視した。そこで、「地域循環共生圏とは」、「地域プラットフォームとは」等の入門編のテーマを設け、実際に取り組む地域に事例を紹介していただき、参加者に具体的な取組イメージを掴んでもらうことを目指した。具体事例を通じて地域循環共生圏を理解できた、という参加者からの感想があった一方で、成功例だけでなく失敗例も知りたい、課題や乗り越えた方法を深掘りして欲しい、というニーズもいただくことができた。

同時に、フォーラム全体として参加者同士のネットワーキングやマッチング創出も狙いとした。地域循環共生圏を持続可能なものにするためには、ローカルSDGsビジネス（地域の環境保全とバランスをとりながら地域の資源を持続可能な形で賢く活用するビジネス）の実践が重要である。地域や企業間の学び合いや偶発的な出会いから始まる協働・協業のきっかけを生む仕掛けを考えた。

まず、地域や企業のピッチ登壇と個別のルームでの議論を組み合わせた交流の場を設けた。その場での参加者同士の直接的なマッチングには至らなかったが、ピッチ登壇で自らの取組を言語化し説明する経験をした地域では、フォーラム後に企業等

地域循環共生圏 フォーラム2021

令和3年10月27日（水）9:30～17:20

オンライン開催！

概要

主催：環境省
共催：and Beyondカンパニー（事務局NPO法人ETIC.）
参加費：無料（事前申し込み制）
定員：各分科会300名程度
※Beyondミーティングの参加者については100名未満となります。

お申し込み・お問い合わせ先

【お申し込みフォーム】
<https://chiikijunkan.jp/forum2021entry/>
※右のQRコードからもお申し込みいただけます

【申込期日】令和3年10月22日（金）17:00
※beyondミーティングの申込開始は別途10月11日を予定しております。
◆開催日前にお申し込みいただいたアドレスに参加URLを送付いたします。
◆マスコミ関係者の取材希望は下記シンポジウム事務局へご連絡ください。

【お問い合わせ】
◆フォーラム事務局 いであ株式会社 高橋・安間
Email event@chiikijunkan.jp

プログラム

9:30～10:00	オープニング「なぜ今こそ地域循環共生圏なのか」 株式会社風と土と 阿部 裕志氏		
10:10～11:10	分科会① まずはここからスタート～地域循環共生圏のはじめ方と地域プラットフォームづくり～	分科会② 企業版ふるさと納税が気になるあなたへ！活用方法を知ろう！	分科会③ 脱炭素は地域が命運を握る～地域再エネを担う人材の拡大のために～
11:20～12:00	関係省庁による地域循環共生圏づくりに関連した事業・取組紹介①	関係省庁による地域循環共生圏づくりに関連した事業・取組紹介②	関係省庁による地域循環共生圏づくりに関連した事業・取組紹介③
13:00～14:00	分科会④ 地域課題をビジネスで解決する！ローカルSDGsビジネスづくりの最前線	分科会⑤ 地域と取り組むESG金融のススメ	分科会⑥ 地域に「裨益」する木質バイオマス事業を本気で作ろう
14:10～15:10 (分科会⑧は15:40まで)	分科会⑦ 地域資源を活かした資源循環のまちづくり実践例～生ごみを使った発電と熱利用から液肥まで～	分科会⑧ 企業と地域で持続可能なミライを作る！～TCFDから考える地域と企業の協働のあり方～（仮） ※分科会⑧のみ15:40終了です	
15:20～16:20 (Beyondミーティングは17:20まで)	分科会⑨ 地域でお金を循環させよう！最新事例のご紹介（仮）	出張開催！ Beyondミーティング×地域循環共生圏フォーラム2021 ※このコマは15:20～17:20の2時間です。 ※詳細は下記ホームページをご確認ください。	

◆Beyondミーティングとは
and Beyondカンパニー（事務局NPO法人ETIC.）が運営する、組織・立場・世代を越えて誰もが参加できるゆるやかな社会変革コミュニティです。新しい価値創造や社会・地域課題に挑戦するアジェンダオーナーが数名登壇し、プレスト会議を通じて応援し、繋がり合います。毎月1回開催され、これまで345人が登壇し、3,333人以上が参加しています。参考：BeyondミーティングWEBサイト（<https://bm.andbeyondcompany.com/>）

※プログラム内容の詳細・最新情報は、環境省ローカルSDGsホームページ（<http://chiikijunkan.env.go.jp/>）にて順次公開いたします。

フォーラムでは1日を通して様々なテーマで開催した。



地域循環共生圏を進める上でのヒントや取組み事例、最新情報などはプラットフォームのサイトに掲載されている。ホームページ：<http://chiikijunkan.env.go.jp/>

との協業が始まっている。その他にも、具体的な課題を抱えている地域や企業以外にも、個人の参加者が気軽に出入りし、カジュアルなやり取りができるロビー（オンライン上の会議室）を設け、積極的に案内した。当日は分科会終了後にロビーに移動して会話を続けるケースがあったり、雑談のために利用する人が少数いたりしたもの、具体的なコミュニケーションが生まれ続ける場には至らず、場づくりの難しさを改めて実感した。

2021年、2回目の挑戦

2021年も前年と同様に地域循環共生圏の周知を狙いつつ、地域循環共生圏に取り組む方々へブラッシュアップのヒントを共有するため、より「まなび」を目的に置いた。また、前年の反省を活かし、ネットワーキングやマッチングの創出ありきではなく、相互の情報交換や意見交換を活発に行える「出会い・交流の場づくり」に重点をシフトさせた。

オープニングセッションではコロナ禍や脱炭素を契機とした激動の時代に地域循環共生圏が果たす役割を参加者と考えるため、「なぜ今こそ地域循環共生圏なのか」のテーマのもと、株式会社風と土と 代表取締役の阿部裕志氏から、ローカルレベルで地域循環共生圏に取り組む意義についてお話しいただいた。また、11の分科会と、NPO法人ETICとの共催による「出張開催！ Beyond ミーティング×地域循環共生圏フォーラム2021」を実施した。

分科会では入門編のテーマや、事例紹介を通じた周知だけでなく、他省庁関連政策や脱炭素に係る流れを汲んだ発展的なテーマ（企業版ふるさと納税、脱炭素・再エネ、バイオマス、資源循環、SDGsビジネス、ESG金融、TCFD）を取り上げ、「なぜ地域循環共生圏に取り組む必要があるのか」という問いに多方面からアプローチした。また、登壇者には、上手く進んだ部分だけでなく苦労した点や本音を可能な限り話していただいた。

「出会い・交流の場」としては、各分科会終了後も延長可能なように設計し、その場で十分に登壇者と意見交換できる時間を確保した。

当日は自治体や民間団体、企業等から約350名の方がオンラインで参加し、どの分科会も大盛況で、質問や意見交換が活発に飛び交った。参加者からも、トップランナーから生の声を聞くことができた、幅広く情報収集が出来て刺激を受けた、時代の変化を痛感した、といった感想をいただき、大きな手ごたえを感じた。

プラットフォームでの役割

SDGs、脱炭素社会への移行、気候変動の適応等、環境・経済・社会を取り巻く変革はこれからも目まぐるしく続いていく。重要なのは、大きな社会変革の中で実際に世の中を動かすのは地域スケールのローカルな取組であるという視点である。地域の資源が最大限に活用され、地域に裨益する形で経済が循環し、持続可能な形で地域課題が解決される動きを支え、広げ、加速化させるのが地域循環共生圏の考え方である。

今後も、地域循環共生圏づくりプラットフォームでは、全国で地域循環共生圏の概念に共感し実践する地域が増えるよう、フォーラム等を通じて先輩地域の事例や最新の取組を伝え、「まなび」と「出会い・交流の場」の機会を提供し、地域循環共生圏に取り組む意義を多様な視点から伝え続けていく。

いであ株式会社 国土環境研究所
環境技術部 研究員 高橋葉